

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月17日更新

事務事業名		一時保育委託事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健全	所属部	こども部		
	施策	5	こども・子育て支援の充実	所属課	こども未来課		
	業務分野	18	子育てと仕事の両立支援	所属班	保育班 (内線) 1623		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市一時保育事業実施要綱
	一般	3	2	4	11415		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	保育所等に通所していない児童の保護者が冠婚葬祭等の事由により、児童を保育することが出来ない場合に一時的に預かる事業である。 また、保育所の入所申込をしているが入所できない児童の保育についても行う。なお、事業実施については、委託により行うものである。(NPO法人へ事業委託) 市内の認可保育所のほとんどにおいて一時保育を実施しており、H24年度から新設保育所2園が開所され一時保育の受入れ枠も増加したことから、同年度よりNPO法人にのみ事業委託をしている。 ヴィーブル内の保育室において、事業実施(休みは年末年始のみ、ヴィーブル休館日も一時保育実施)  平成23年度までは「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用していたが、事業年度が満了し平成24年度は「子育て支援交付金」、平成25・26年度は「子育て支援強化事業補助金」、平成27年度以降は「子ども子育て支援交付金」を活用して実施している。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料

(1)事務事業の振り返り・計画  
 ①6年度事務事業の成果・実績  
 一時的に保育が必要な児童を半日～1日預かる一時保育委託事業をNPO法人に事業委託により実施したことで、保護者の不安解消につながった。  
 令和6年度実績：延べ利用者数1,537人

②7年度計画(次年度に計画している主要内容) ③予算の主な増減の理由  
 一時的に保育が必要な児童を半日～1日預かる一時保育委託事業をNPO法人に委託して実施する。 R7より保育所等運営事業(10580)へ統合  
 保育所等運営事業(10580)へ統合することに伴う事業費の減

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 一時保育の延べ利用者数	人	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	人	1,175	1,196	2,000	1,537	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円	3,402	4,056	3,991	4,248				
	都道府県支出金	千円	3,516	2,533	3,991	3,967				
	地方債	千円								
	その他	千円	1,846	1,957	1,680	2,366				
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	5,503	5,721	4,605	3,686				
	(A) 事業費計	千円	14,267	14,267	14,267	14,267	0	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)  
 (成果向上の余地)  
 保護者の利用ニーズを受け、実施しているため向上の余地はない。  
 (事業費削減の余地)  
 国庫の補助を受け、最低限の事業費で実施しているため、削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性  
 廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)